



津本（憲）

秋久

野村

森西

新政クラブ

代表質問者 秋久憲司

合意と市民参加で、
新たなまちづくりを

市長 ↓ 新給食センターはこれまで

べきでは。少し洗練された行政運営を行うべきでは。

質問 ↓ 小学校・中学校のPTA会長に新給食センターへの考えをアンケートで聞いたが、計画に「合意しているかどうか」では、「合意」はゼロ、「合意していない」が半数以上、「どちらともいえない」が約4割。市民合意がないなら地方自治の自滅、もう少し洗練された行政運営を行うべきでは。

市長 ↓ 事業評価システムなどに取り組んだが部分的。今後は理念を始め「経営」の仕組みづくりに取り組む。

質問 ↓ 「一律カット」の行革は限界。行政の基本原則、守備範囲などを明確にし、行政経営の再構築を。

財政部長 ↓ 今までにない厳しい状況に陥る危機感を持っている。大胆な事務事業の見直しを図っていく。

質問 ↓ 地方交付税の合併特例加算が順次減額されるなど、平成32年度には30億円程度の一般財源が喪失となることに対し危機感。

市長 ↓ 新給食センターはこれまで

べきでは。少し洗練された行政運営を行うべきでは。

質問 ↓ 都市計画マスタープランの地域別構想に基づき市内七地域で「まちづくり」を進めているが、中心部地域の「活性化協議会」と旧町村の「地域審議会」設置と比べて、旧市内の東部、北部、西南部地域には「まちづ

産業経済部長 ↓ つやま新産業創出機構で「津山ロール」などブランド開発を進めている。販路拡大や農工商連携による新たな特産品開発にも取り組む。食や商品に限らず津山の地域ブランドを確立し内外に発信できる地域活性化策を研究したい。

質問 ↓ 「地域ブランド」とは、特産品や歴史・観光など地域イメージの総体として愛着や誇りを抱いてもらうことが、他の地域から住民や企業を呼び込む。オンラインワンの「地域ブランド」の確立を自治体経営戦略にどう位置づけるのか。

の説明会や保護者などからの意見・考え方をいただいた中で、課題整理をしてみたい。

市長 ↓ 天守閣復元は市民の機運が

高まることで条件で、私の夢でもある。さまざまな制約もあるが、夢の実現のため同じ夢を持つ皆さんと一緒に頑張る。

質問 ↓ 津山城跡の天守閣復元を望む市民の熱い声がある。先人が残した天守閣を復元し、歴史・文化を観光の題材にすべきでは。

市長 ↓ 天守閣復元は市民の機運が高まることで条件で、私の夢でもある。さまざまな制約もあるが、夢の実現のため同じ夢を持つ皆さんと一緒に頑張る。

質問 ↓ 県北地域への併設型中高一貫教育校と定時制高校の設置を進めるべきだが、当局の見解は。

教育長 ↓ 学校選択の幅が拡大されるメリットがある一方、地元中学校の生徒へ与える影響もある。地元の見解を聞いて岡山県と検討したい。定時制高校の設置は意義がある。

市長 ↓ 「地域審議会」は合併特例法に基づき10年間であり、「活性化協議会」は中心市街地活性化法に基づき設置。他の地域は「住民自治協議会」を活用してもらいたい。